

学校教育目標

■教育目標

「心豊かでたくましい生徒の育成」 知・徳・体の調和

知 学びとる

確かな学力と学ぼうとする意欲を持った生徒
学び合う集団を大切にする生徒

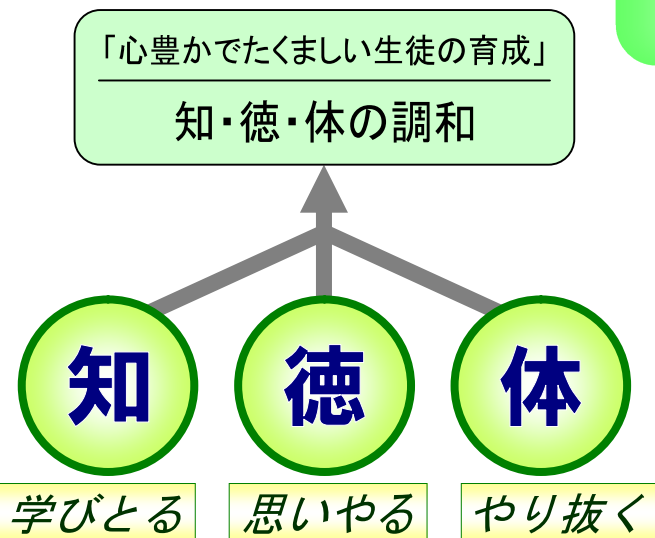
徳 思いやる

豊かな心を持った生徒
「いのち」や「もの」を大切にする生徒
社会のために自ら実践する生徒

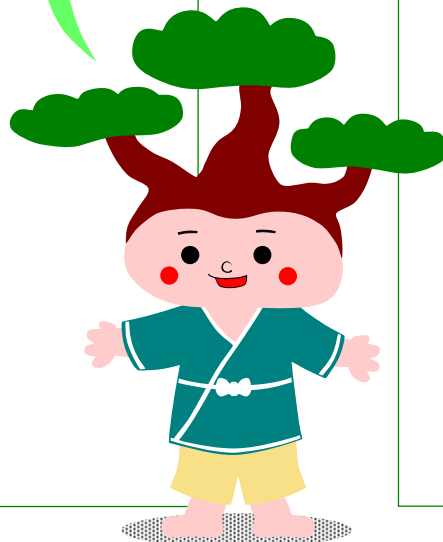
体 やり抜く

健康でたくましさを持った生徒
「やれば出来る」を合言葉に切磋琢磨する生徒

■イメージ図



粟津中の学習を
ご紹介します



粟津中キャラクター「あわ松くん」(C)

めざす学習

■粟津中学校がめざす学習

「学び合い」から理解を深める教室づくり



生徒が主体的に取り組み、学習する楽しさや喜びを実感できるような授業、そして学習内容がしっかりと定着するようわかる・できる授業をめざして、グループ学習を取り入れるなど「学び合い」から理解を深める教室づくりに努めています。



■「学び合い」による5つの学習効果

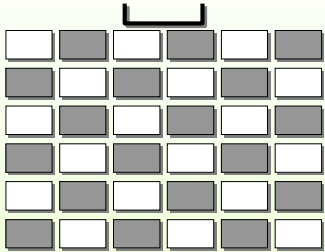
- ①生徒1人あたりの発言が増える。(主体的な授業参加)
先生の話をじっと聞くのではなく、グループ単位あるいは学級全体での話し合いをしながら進める授業であるため、生徒が発言する回数が増えます。
- ②考える習慣が付く。(思考力)
何もかも先生から説明を受けるのではなく、設問や課題に対して自分たちで答えを導き出そうとする活動を設定します。そのため「覚える力」よりも「考える力」が鍛えられます。
- ③論理的に説明しようとする力が付く。(表現力)
話し合いの活動を通して、何をどのように説明すれば相手に伝わるか、論理的な話し方が身に付きます。また友達の話方を参考にして、自分の話し方を見直すこともできます。
- ④多面的に理解できる。(知識の深化・補強)
お互いに教え合う中で、別の見方に気付いたり、自分の認識を他の角度から確かめたりできます。お互いの意見を聞いて、驚いたり、納得したりしながら、理解が深まります。
- ⑤他者理解が深まる。(コミュニケーション力)
他の友達の意見を聞いて、自分以外の立場や考え方があることに気づき、他者理解が深まります。ひいては他の人の考えを尊重できるようになり、コミュニケーション力が高まります。

■ 3つの学習形態とポイント

※授業の内容やねらいによって、学習形態を以下のように工夫しています。

1人で学ぶ

一斉前向き



【特徴】

- 自分の作業や思考に集中しやすい。
- 黒板を写しやすい。

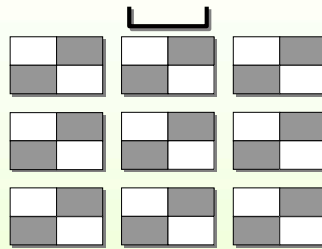
学習のポイント

- 個人の作業に集中し、自分の考えを深めよう。



話し合う

四人一組



【特徴】

- 気負わず気軽に話し合える。
- 1人1人の発言回数が増える。
- お互いの意見を聞ける。

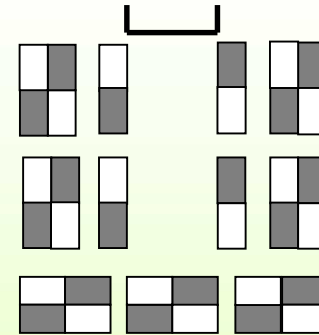
学習のポイント

- お互いの考えをしっかり聞こう。
- 思ったことを気軽に話し合おう。



交流する

コの字



【特徴】

- お互いの顔を見て言葉を交わしやすい。
- 学級全体で考えを交流できる。

学習のポイント

- さまざまな意見に耳を傾けよう。
- もう一度自分の考えを見直そう。



みんなの考えを知るのは
とても楽しいよ。勉強になるよ！

